



**俳人。新聞記者。**松山城下(現、松山市)出身。本名は正之。愛媛県松山中学校(現、県立松山東高等学校)に入学し、3級上級の正岡子規と交流を結び、以降「文友」として交際する。子規が神戸の病院を退院後、静養のため帰省し、愚陀佛庵に寄寓の際は日参して俳句の指導を受けた。極堂らの俳句活動は、子規の日本派俳句の最初の地方結社となり、俳誌『ほとゝぎす』、『鶏頭』を創刊、子規吟行集「散策集」などを発表した。また、「松山子規会」を結成し、『友人子規』などを著し、子規の研究・顕彰に余生を捧げた。

一方、松山市会議員として地方自治の振興と産業の発展に尽くし、また新聞社を経営して教育文化の振興に寄与した。

## 略歴

慶応3(1867)年2月11日	松山城下の北京町 <small>きたきょうまち</small> に、松山藩士・柳原正義の長男として生まれる。
明治14(1881)年	愛媛県松山中学校に入学。正岡子規と知り合い、親交を深める。
明治16(1883)年4月	中退して東京に出て、共立学校(現、開成学園)に入学
明治23(1890)年	帰郷して海南新聞社(現、愛媛新聞社)に入社
明治27(1894)年	「松風会」に参加
明治30(1897)年1月15日	俳誌『ほとゝぎす』を創刊
明治32(1899)年	松山市会議員に当選
明治39(1906)年	『伊予日日新聞』を発刊
大正13(1924)年	村上霽月らと「子規居士遺跡保存会」を創設
昭和7(1932)年	東京で俳誌『鶏頭』を創刊。同誌に子規吟行集「散策集」などを掲載
昭和18(1943)年1月19日	「松山子規会」を結成
昭和28(1953)年1月	第1回愛媛文化賞受賞
4月	第1回愛媛県教育文化賞受賞
昭和32(1957)年7月	松山市初の名誉市民称号受領
10月	初の愛媛県県民賞受賞
10月7日	90歳で永眠

### 〈関連図書〉

- ・柳原極堂『友人子規』 前田書房 1943年
- ・鶴村松一『柳原極堂－伊予路の文学遺跡散歩－』 松山郷土史文学研究会 1980年
- ・柳原正春『父極堂』 父極堂頒布会 1983年
- ・和田茂樹『愛媛文化双書36 子規と周辺の人々』 愛媛文化双書刊行会 1983年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第20巻 正岡子規・内藤鳴雪・柳原極堂』 愛媛県教育会 1989年
- ・二神將『子規の文友 柳原極堂の生涯』 松山子規会 1997年

〈主な収蔵資料〉…(P221~222, 112~117)

〈ゆかりのある場所〉…(P307~308, 175~177)